

Berlinale
68th Internationale
Filmfestspiele
Berlin
Forum

第68回ベルリン国際映画祭
フォーラム部門 正式招待作品

www.minatomachi-film.com

死 生
ぬ き
て、

死 生
んで、
きる。

ドキュメンタリー映画の臨界点

港町

想田和弘監督観察映画第7弾

I n l a n d S e a

監督・製作・撮影・編集:想田和弘 | 製作:柏木規与子 | 製作会社:Laboratory X, Inc | 配給:東風+gnome | 2018年 | 日本・米国 | 122分 | モノクローム | DCP

『港町』は、静謐な感動をもたらす、息を呑むほど美しいドキュメンタリーです。

島が美しい。海が美しい。そして猫も。

だけ際立って美しいのは、そこで暮らす人々。

穏やかだが衝撃的で、心を揺さぶるあの場面は、

ごく自然に映画のなかに歩いて入って来ました。

これが、ドキュメンタリー映画の芸術なのです。

★ **ポン・ジユノ** 映画監督 / 『タエムル 漢江の怪物』母なる証明

魚を捕る。

水揚げ、市場、小売り、そして消費者へ。

この単純な営みの、その時間の、

なんと愛おしい、こころう。

想田和弘は、それを丁寧にすくい取っていく。

「これが私たちの生活、これが私たちの社会」どこでも誇示するかのよう。

★ **平田オリザ** 劇作家



比類なき映画体験。ドキュメンタリーの驚天動地。

美しく穏やかな内海。小さな海辺の町に漂う、孤独と優しさ。やがて失われてゆくかもしれない、豊かな土地の文化や共同体のかたち。そこで暮らす人々。静かに語られる彼らの言葉は、町そのもののモノローグにも、ある時代のエピローグにも聞こえる。そして、その瞬間は、不意に訪れる……。



監督は、イタリア、カナダ、中国などでレトロスペクティブが組まれるなど、国内外で高い評価を受ける映画作家・想田和弘。2018年のベルリン国際映画祭への正式招待が早々と決まった本作は、作品を重ねるごとに進化を続ける「観察映画」の新境地であり、同時に、現代映画のひとつの到達点である。しかし、我々は、この映画体験の美しさと比類のなさを語る言葉を未だもてずにいる。あなたは、どうか？

想田和弘監督 | 観察映画第7弾

港町

I n l a n d S e a

<http://minatomachi-film.com/>

<https://www.facebook.com/minatomachi.film/>

4月7日(土)より、ロードショー

想田和弘監督による初日舞台挨拶あり。詳しくはHPまで。

全国共通特別鑑賞券 1,500円(税込) 発売中

当日一般1,800円 / 学生・シニア1,200円 / 会員1,100円

★一前売り特典:オリジナルポストカードセット(3種)をプレゼント!(数量限定・非売品)

イメージフォーラム

[シアター] 自由席・定員入替制 / 整理券制



渋谷駅より徒歩8分、宮益坂上あり、次の信号を右手入る

TEL.03-5766-0114 | www.imageforum.co.jp

上映時間 | 10:50 | 13:30 | 16:00 | 18:30 |